

「欲を通して」

後藤 覚

私達は、日々の生活をしていく中で様々な「欲」をもって生きています。健康で長生きがしたい、美味しいものが食べたい、お金が欲しいなど様々です。しかし、社会生活を送る上で「欲」も無くてはならないと思います。欲があるからバレーが上手になりたい、勉強を頑張ってテストで百点を取りたいと思う向上心につながると思うからです。また、大乘仏教の思想の中に、煩惱や欲があるからこそ悟りも生まれるという煩惱即菩提という考えもあります。

そして、年齢を重ねると、若い頃の「欲」は無くなるが、新たな「欲」が出てきます。私は若い時は痩せていましたが、今では中年太りでお腹が出ています。ですから、昔の体型に戻りたいという、若い頃には無かった新たな欲が出てきました。「歳をとると欲が無くなる」と聞くことがありますが、人間の欲は死ぬまで無くならないでしょう。ですから、お釈迦様が教えられる四苦、生・老・病・死。この生というのは、生きるという意味ではなく生まれるということです。生まれて、老いて、病んで、死んでいくというのが人間の身の事実です。この人生の歩みの中で、その時その時の様々な「欲」を経験しながら、強欲一杯の私であると気付かせていただくには、仏様の教えを聞く以外に方法はないでしょう。